

会議要旨

【開催概要】

会議名称	第1回三豊市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画策定委員会
開催日時	令和2年7月30日(木) 15:00～
開催場所	三豊市危機管理センター 2階 201会議室
出席委員 (名簿順表記)	平林委員、宮寄委員、仁井委員(委員長)、筒井委員、岡委員、岡田委員、斎藤委員、木村委員、滝口委員、前田委員、藤村委員(副委員長)、藤川委員、植岡委員、川江委員、藤田委員、香川委員、則包委員、曾根委員、河津委員、中嶋委員 (計20名)
欠席委員	中委員
事務局	森課長、橋村課長補佐、大西課長補佐、石井主任
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 委嘱状交付 3. 副市長あいさつ 4. 委員長及び副委員長選任 5. 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 三豊市における介護保険事業の現状について (2) 高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画について (3) 日常生活圏域ニーズ調査及び在宅介護実態調査について (4) 高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定のスケジュールについて (5) その他 6. 閉会
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・資料1 名簿、三豊市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会設置条例 ・資料2 三豊市における介護保険事業の状況について ・資料3 高齢者福祉計画及び介護保険事業計画について ・資料4-1 日常生活圏域ニーズ調査報告書 ・資料4-2 在宅介護実態調査報告書 ・資料4(追加) ニーズ調査及び在宅調査 前回調査との比較 ・資料5 スケジュール
公開／非公開	公開
傍聴者	0人

【議事要旨】

事務局	<p>1. 開会 2. 委嘱状交付 3. 副市長あいさつ 4. 委員長及び副委員長選任 5. 議事</p> <p>(1) 市の介護保険事業の状況</p> <p>●資料を基に説明</p>
委員長	<p>人口全体が少なくなる、日本全国そうだが、三豊市の人口も大変少なくなっていく。その中で高齢者の人口というのは、それほどは変わらない。こういった人口推移があり、その中で認知症がこれから増えてくるだろう、それから認定率も徐々に上がっているが、特に要介護1あたりがあがってくるだろうという予測で、それに従いサービスの利用というのも、この3期の間、第5・6・7期と徐々に上がってきている。こういった実情が見て取れる。</p> <p>当然介護保険費用額も上がっているの、それを捻出するための保険料基準額。これから第8期に向けてこれをどういように調整していくのかというのが本会の1つの課題と理解している。これから先の事業について、皆様の協力をお願いしたい。</p> <p>第一期は2,500円くらいだったと思うが、それからどんどん増えてきてここまでできている。結構天井に近いのではと。この費用、当然必要な分は必要だが、いかに有効に使えるかとい面でも議論いただきたい。</p> <p>(2) 高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画について</p> <p>●資料を基に説明</p>
事務局	<p>●資料を基に説明</p>
委員長	<p>これから先、今まで拡充してきた介護保険サービスが今のままでは維持が難しくなる。これをどうやって持続可能なものにしていくかということ色々な試みをやるということだと思う。実際にどういうことができるかは、みなさんよくお分かりのことだと思うので、実際にどういうことかできるかということをもたご検討いただきたいと思う。</p> <p>(3) ニーズ調査及び在宅介護実態調査について（報告）</p> <p>●資料を基に説明</p>
事務局	<p>●資料を基に説明</p>

委員長	これは1,000名を比較したものであったが、どういう風にピックアップしたのか。
事務局	ランダムでしている。ただ地域性もあるので、人数による割合、例えば高瀬町とかになると人口の率が多くなるので、人口の割合をやや考慮して、旧町ごとにランダムに抽出している。
委員長	地域的に偏らないようにしたということですね。これは最初の2万あまりの65歳以上の高齢者、一番最初に説明があった、そのうちの1,000名ということだが、だいたいどれくらいで調査として妥当なものか。
事務局	統計学で言われていることだが、2万人の中の1,000人というのは妥当なところであると聞いている。他の調査においても、三豊市の市民に対するアンケート、6万3,000人いるが、その中で1,000人や2,000人という数でだいたいの割合というのはとれると聞いている。
委員	7ページで、第一号被保険者ひとり当たり保険給付月額というところ、市町村別に書いてある。三豊市は月に24,691円。この保険給付というのは、65歳以上の人が、保険給付だから、それだけのサービスを使ったということではないか。
事務局	そういうことです。
委員	高松が高いのは昔から目にしているが、三豊市も同様に割と高い数字だと思った。グラフの上にコメントも書いているが、そう理解してもいいか。
事務局	近隣の観音寺や丸亀が三豊市と比べると低くなっているが、給付額が増えるというのはサービスを使うことや施設が多い等、そういった部分で周囲の自治体と比べて割合としては人口に比べたら多い。そういう中で給付が増えているような結果と考えている。
委員	6ページにある、第7期の保険料額、第7期はだいたい一人当たり6,000円の介護保険料を市民が納める、平均値で。これは9団体あったと思うが、これはだいたい中位、真ん中ぐらいだというように覚えていたが、これを基にして実際に保険給付が24,691円と、高松に並ぶくらい少し高いと理解していいか。
事務局	おっしゃるとおりで、三豊市第7期6,000円というのは、香川県内市全体でいうと4番目、東かがわが一番高く6,880円、続いて高松が6,633円、その次さぬき市があるが、ちょうど三豊市が真ん中あたりとなっている。当然給付に使う分が増えれば保険料も増えるということになるが、それともう一点は、認定

	率、高齢者の中で要介護や要支援になっている人の割合なども若干は関係しているのではないかとと思われる。
委員長	よく議論になるが、隣の観音寺と比べてなぜ高いのかと聞かれたりするが、解釈としたらどうか。
事務局	正確に判断するのは難しいが、三豊市内特別養護老人ホームについては、三豊市内の定員数は観音寺より多いというのはあるが、ただそれについても色々な方が利用しているので正確な判断は出来ない状況である。
委員長	それでも今回の調査でかなり高いが、介護サービスはある程度必要なものは充実させてほしいというように受け取っていいか。
事務局	意向調査の方ではそういった結果がでている。
委員長	この1,000人の抽出の回答は70%だが、そういう意識調査の結果だった。利用者の方たちのニーズや介護保険の保険料をどうするか、あるいはサービス提供体制等を総合的に考えながら、本会を進めて行きたい。
	(4) その他
事務局	スケジュールは、令和3年3月までに策定とし、今回を入れて4回の策定委員会を実施したい。次回は10月1日、11月下旬に第3回、翌年2月に第4回委員会を開催予定である。
委員	介護保険料は予算のどれくらいを占めているのか？
事務局	介護保険の市の予算は、80億程度予算のうち9割が給付になっている。ざっくりですが、半分が国、県、市の予算、半分が介護保険料でまかなわれている。
委員長	三豊市は旧7町が合併して、一定の評価を得ているのではないかとと思われるが、これからは高齢化も進むので、これから先を考えなければならないと思う。
委員	介護の大変さ、たくさんの費用を要していると感じていたのだが、地域住民の方が少し高くてもサービスを受けたいということですので、その方向で進んでいったら、僕が将来お世話になるようになってからも安心かな、と思う。
委員長	サービスを提供する側の方としてはどうか。

事務局	<p>提供側から申しますと、かなり厳しい。特に運営、経営するということ、人員についても少し厳しい状況に差し掛かっている。</p> <p>持続する方向を維持するためには、地域の皆様の協力が必要かなと思っている。こういった場を通して、維持していきたい。</p>
委員	<p>新型コロナウイルスが気になっていて、終息は考えられない状況かなと思っている。介護サービスが成り立つのかなと思う。</p>
委員長	<p>コロナは、田舎でも発生するわけなので。</p>
委員	<p>高血圧と糖尿病が増えているが、治療に向けて検査が増えたという面もあると思う。</p>
委員長	<p>これから医療と介護が一緒になってやっていくことが、大事なことだと思う。</p> <p>5. 閉会</p>